キャラクター名

灯

プレイヤー名

ポジション	ソロリティ	**享年**	
メインクラス	バロック	**暗示**	
サブクラス	ロマネスク	**寵愛点**	16

初期配置	煉獄
最大行動値	11

能力値	クラス	修正	合計
武装	0	0	0
変異	2	0	2
改造	2	1	3

記憶のカケラ	内容
08笑顔	何に笑っていたんだっけ。覚えいていれば笑い話の一つにでもできたかもしれない。
48ひきこもり	この世界が好きだった。
【星祭り】	あの日、星がに行った。はぐれてしまわぬように、とそっと握られた手を握り返したあのら、ぎゅりを見放す。初めて主にする長時間の出歩く、けれどもあふれ出ける笑顔の方が笑色のに、行きかう人々色々の顔色に目を奪われたモノに、けれど、ねぜか胸が痛んだのを覚えている。
【短冊】	迷いなく、一度も紙から筆を離すことなく、5枚分の短冊に願い事をかけば、神様が応えを送り、願いをみえてくれるという習わしを聞いにことがある。彼岸のおまじないというらしい。あの時の願いは、確か一―。
【大切な人】	ずがないのに、わ心に思ってくれるんのいた。家族、友人、恋人一―。どんな関係にったのか思い出せないけれど、あのはずっと優しかった。その人に連れは連れのに、けれど、あのはどんなにったっか、あのいの名前で、顔も、何者だったかも、そして、自分の名前でさえ、今どうってお思い出せない。
【縁日】	迷ったあの時の「パパ」。夜の浴衣のの記憶。パパのことは覚えのは覚えの。ずっと一緒の記憶。パパは「一―」呼ぶ。ふ浴衣の時間ごとの浴衣ごとの「夏祭り」。あの日、あのパパの名前は、覚えの。あの日、あのパパは、あの人の名前は、覚えの。「一」。あの日、あのパパは、あの人の名前は、覚えの。「一」。あの日、あのパパは、あの人の名前は、覚えの。「一」